



## 情報宅急便

### ▽時の話題「エコグッズ」



6月は“環境月間”ということをご存知でしょうか？今回は環境月間にちなんで環境保全につながるエコロジー（以下エコ）グッズをご紹介します。

#### ●6月はなぜ環境月間？

6月5日は国連が定めた「環境デー」です。これは、1972年6月5日からストックホルムで開催された「国連人間環境会議」を記念して、日本の提案によって定められました。

環境庁（現環境省）の提唱で、6月の1ヶ月間は環境月間とし、「環境保全を考え、活動意欲を高める」ために6月は全国各地で行政やNGO、企業が中心となった様々なイベントが開催されています。

#### ～身近なことからエコ生活～

##### ●マイ水筒

日に日に夏の訪れを感じるほど暑い日が増えてきましたが、これからの時期はマイ水筒がお勧めです。脱ペットボトルとなるだけでなく、水分を摂取することで熱中症を防げて、お財布にも優しいエコグッズです。サイズや色も様々でオシャレな水筒が多く販売されていますので、お気に入りのマイ水筒を持って出かけてみてはいかがでしょうか。

##### ●エコバック

最近ではこの言葉が多く使われるようになり、持ち歩く人をよく見かけられるようになりました。エコバックを買い物時に持参すれば、レジ袋の消費や過剰包装を防ぐことができます。さらに、エコバックの使用で値引きやポイント付与等をしているお店も増えてきていますので、お得に買い物ができますね。

##### ●水に優しい洗濯グッズ

毎日私たちの生活は、風呂や洗濯、食器を洗うことで大量の水を使用しています。節水や水を汚さない少しの工夫は環境のために大切です。中でも、重曹は環境に優しい弱アルカリ性商品で、洗剤と同じく白物をより鮮やかにする効果があります。使用方法はいつもの洗剤の1/2～1/4の量を重曹に変えて洗濯をするだけで、洗濯層のカビや室内干しの際に発生する悪臭も抑制します。その他に、洗剤を使わず洗濯機で汚れを落とせる優れもののエコグッズもあります。

他にも環境にやさしく便利なエコグッズが沢山あります。環境月間をきっかけに簡単なことからエコの生活を心がけてみましょう。

東京海上日動情報宅急便より

損害保険・生命保険に関する、疑問・質問ございましたら、お気軽にご連絡ください！（スタッフ一同）

#### ㈲不二越総合保険事務所

〒811-2304 福岡県糟屋郡粕屋町花ヶ浦1-13-20-102

TEL 092-939-5788 FAX 092-939-5799

H/P <http://www.fujikoshi-hoken.jp>

E-mail [info@fujikoshi-hoken.jp](mailto:info@fujikoshi-hoken.jp)

## 事故対策 ワンポイント アドバイス

～元満 尚人～



今回は最近ますます増加傾向にある高齢者の死亡事故についてご案内致します。

福岡県警発表の平成22年交通事故の死者数は、昭和21年以降最少でありましたが、そのうち高齢者（65歳以上）の死者数は全体の約5割を占めているという厳しい情勢にあります。その中で特に多い事故は、夜間・薄暮時に歩行中に事故に遭うというケースです。夜間や薄暮時は運転者にとって視界が悪くなるため、歩行者や自転車などの発見が遅れがちになります。夜間等の交通事故防止のポイントは「見せること、見られること」にあります。出かける際には明るい色の服や反射材を有効に活用し、運転者に対して存在をアピールすることが大切です。また運転者も早めのライト点灯を心掛け、特に右左折時は横断歩道を通行中の歩行者等に注意しましょう。

この度、弊社は福岡県粕屋警察署の協力の元、交通事故防止の取り組みに一層力を入れていくこととなりました。交通事故に遭ってしまい悲しむ人を減らすよう努めて参りますので宜しくお願い申し上げます。

## 立ち読み・ななめ読み

### ★「論語」人間一生の心得

著者：渋沢栄一 価格：1,300円 出版：三笠書房

サブタイトル<己に勝ち成功を手にする>とあるように人間本来のあるべき姿を論語を通して孔子が教えてくれる。日本資本主義の生みの親 渋沢栄一・福沢諭吉の進むべき道しるべを示してくれた。

### ★あなたイズム

著者：博報堂ブランドデザイン 価格：743円 出版：アスキー新書

ここでいう「イズム」は、<個人の持ち味と組織のらしさの接点>と定義づけられている。近年目立って業績を上げている企業やスポーツチームは、自発的で積極的なメンバーが育ち、組織の側も彼らが持ち味を発揮するのを推奨している、そんな傾向があるという。個人の持ち味を全て抑えて「滅私奉公」する時代でも無いが、会社の価値観や方針を無視した「オレ流」も許されるはずはない。その接点「イズム」を各々が意識して行動することで組織が活気づく、と。本の最後に3つの対談があり、具体的に面白い。

## スタッフの声

～中河原 文晴～

『人の話をよく聞きなさい。』小さい頃よく母から言われておりました。今に至り、人の話を聞くことの大切さを身にしみ感じております。ある格言にも『人には口が一つなのに、耳は二つあるのは何故だろうか。それは自分が話す倍だけ他人の話を聞かなければならないからだ。』とあります。

私は本年の6月1日より、当事務所でお世話になる事になりました新人で現在修行中の身です。先輩方の話をよく聞き、理解して成長していきたいと思っております。